

製品安全データシート

平成 27 年 2 月 20 日作成

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 オメガ 580S
会社名： 株式会社ループエース東京
住所： 東京都文京区本郷 3-13-3 ミトビル 2F
TEL： 03-5802-5201
FAX： 03-5802-5200

2. 組成・成分情報（混合物・危険有害性物質が対象）

成分名	CAS No.	化学物質管理 促進法(PRTR)	労働安全衛生法 (整理番号)	含有量 (質量%)
高精製軽油	—	—	—	50～60
添加剤	—	—	—	
ブチルヒドロキシ トルエン	—	—	—	
プロパン	74-98-6	—	—	液化石油ガス として 40～50
n-ブタン	106-97-8	—	480	
i-ブタン	75-28-5	—	—	

3. 危険有害性の要約

分類の名称 高圧ガス・引火性液体・急性毒性物質
危険性 可燃性ガスが入っている。引火及び高温による内圧上昇により破裂の恐れがある。
2.61℃以上では蒸気/空気の爆発性混合気体を生じることがある。
有害性 高濃度の気体を吸引すると麻酔作用があり、中毒の危険性がある。
皮膚に触れると吸収される可能性あり。

GHS分類：

可燃性・引火性ガス： 区分1（シンボル：炎、注意喚起語：危険）
高圧ガス： 液化ガス（シンボル：ガスボンベ、注意喚起語：警告）
急性毒性（経口）： 分類できない
急性毒性（経皮）： 分類できない
急性毒性（吸入：ガス）： 分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）： 分類できない
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）： 分類できない
皮膚腐食/刺激性： 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/刺激性： 分類できない
呼吸器感作性： 分類できない
皮膚感作性： 分類できない
生殖細胞変異原性： 分類できない

発がん性：分類できない
生殖毒性：分類できない
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）：区分3（シンボル：感嘆符、注意喚起語：警告）

新日本石油/ENEOS ミックスブタン(B0)/整理番号89454/2009年9月1日

特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）：分類できない

吸引性呼吸器有害性：分類できない

水生環境有害性（急性）：分類できない

水生環境有害性（慢性）：分類できない

GHSラベル要素：

シンボル：



注意喚起語：危険

危険有害性情報：極めて可燃性／引火性の高いガス
熱すると爆発のおそれ
眠気又はめまいのおそれ

注意書き：

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・すべての安全注意（MSDS等）を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・熱、火花、裸火、高温体等の着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・必要に応じて個人用保護具を使用すること。
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・ガス／スプレーの吸入を避けること。
- ・漏洩ガス火災の場合には：漏洩が完全に停止されない限り消火しないこと。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
- ・気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。
- ・日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。
- ・部外者が立ち入らない場所に保管すること。
- ・使用済みの容器は速やかに販売業者に返却すること。

国／地域情報

- ・高圧ガス保安法第2条に規定する高圧ガスであり可燃性ガス。
- ・液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第2条に規定する液化石油ガスであり、可燃性ガス。

・労働安全衛生法施行令別表第1第5号に規定する可燃性ガス。

4. 応急処置

目に入った場合	正常な水で十分に洗浄した後、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	水と石鹼で付着した部分を洗う。
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移す。身体を毛布などを覆い、保温して安静に保ち、必要なら医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないで、直ちに医師の手当てを受ける。口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗うこと。

5. 火災時の措置

使用可能消化剤	霧状の強化液、ドライケミカル、泡、炭酸ガス消火器、砂
消化方法	直ちに消火器等で消化する。水を消火に用いてはならない。作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。消火者は適切な保護具（耐熱着衣、保護眼鏡等）を着用し、空気呼吸器等を装備する。可燃性のものを周囲からすばやく取り除くこと。指定の消火器を使用すること。火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがあるので、消火活動には距離を充分にとること。高温に晒される製品容器に水をかけて冷却する。

特別な保護具	自給式呼吸器
--------	--------

異常燃焼・爆発性火災	濃い煙が発生します。 二酸化炭素・一酸化炭素が発生します。
------------	----------------------------------

6. 漏洩時の措置

作業の際には適切な保護具（手袋・保護マスク・エプロン・ゴーグル等）を着用する。漏れ発生時（噴出時）には、風上より処置を行いようにし、容器の漏出部は上向きにし、完全にガスを噴出させてから処置する。付近の着火源・高温体及び可燃物を素早く取り除き、風下の人を避難させる。着火した場合備えて適切な消火器を準備する。衝撃・静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。少量の場合は乾燥砂土・おが屑・ウエス等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。大量の場合には盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。廃棄物は関係法規に従い処理する。

7. 取り扱い及び保管上の注意（関連法規に準拠して作業すること）

取り扱い上の注意	使用時には使用者にかからないように風の流れを背後に受けるようにすること。 周辺で火気・スパーク・高温物の使用を禁止する。 火災に向かって噴射してはならない。 温度が高くなる場所に置くと、容器が破裂する恐れがある。 皮膚・粘膜又は着衣に触れたり、吸引したり、目に入らないよう適切な保護具を着用する。
----------	--

保管上の注意

密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。
 取り扱い後は手洗い等を充分に行い、衣服に付着した場合は着替える。
 静電気対策を行い、作業衣・作業靴等は通電性のものを使用する。
 幼児の手の届かないところの置くこと。
 直射日光を避け、通風の良いところに保管する。
 危険物の表示をして保管する。
 水回りや湿気の高いところに置くと、缶が錆びて内容物が漏出又は噴出する恐れがある。
 火気、熱源、スパーク静電気蓄積を避ける。
 40℃以上になるところには置かないこと。
 保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は設置する。
 ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触ならびに同一場所での保管を避ける。

8. 曝露防止及び保護措置

曝露許容濃度

成分名	管理濃度	ACGIH
工業用初付オイル	—	5mg/m ³ (ミスト)
プロパン	—	1000ppm(TWA) LPGとして
n-ブタン	—	
i-ブタン	—	

曝露設備対策

取り扱い場所の近くには高温・発火源となるものが置かれ
 ないような設備とし、防爆型のものを使用する。
 密閉場所で作業する場合には、排気装置を取り付けること。
 取り扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

目の保護

保護眼鏡を着用する。

皮膚の保護

有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を装着する。

呼吸器系の保護

有機ガス用防毒・防塵マスクを着用する。
 密閉された場所では送気マスクを着用する。

その他の保護具

作業の内容に応じてエプロン・保護衣などの不浸透性の保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質、危険性情報

	内容液	噴射剤
状態	液体	大気圧下：ガス状 圧力容器内：液状
色調	薄黄透明色の液体	無色透明
臭気	なし	特異臭
沸点	データ無	- 42.1～ - 0.5℃

蒸気圧	データ無	0.278~1.275MPa (40℃)
比重	0.89 (20℃)	0.555 (20℃)
引火点	216℃	- 104.4~73.8℃
発火点	データ無	405~550℃
爆発範囲	データ無	1.8~9.5vol%
可燃性	有	有

10. 安定性及び反応性 (製品として)

40℃以上になると缶破裂の恐れがある。

通常の条件では安定である。

燃焼時の危険生成物：濃い煙、一酸化炭素、二酸化炭素

避けるべき物質：過酸化水素のような強酸化剤、クロム酸、臭素

11. 有害性情報 (内溶液について。人についての症例、疫学的情報含む)

皮膚腐食性 無

刺激性 (皮膚, 目) 長期又は繰り返し接触する場合刺激性ある恐れあり

感作性 データ無

亜急性毒性 データ無

慢性毒性 データ無

ガン原性 データ無

生殖毒性 データ無

催奇形性 データ無

その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)：有用な情報無

原液を食べると下痢、嘔吐する可能性がある。

目に入ると発赤、痛みを生じ、炎症を起こす可能性がある。

皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。

ミストを吸入すると気分が悪くなることもある。

12. 環境影響情報

漏洩時・廃棄等の際には環境に影響を与える恐れがあるので注意すること。

13. 廃棄上の注意

- ・ 事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
- ・ 投棄禁止
- ・ 埋め立て処分を行う場合には、あらかじめ焼却し、その燃え殻について下記の物質が総理府で定めた基準以下であることを確認しなければならない。
銅又はその化合物、亜鉛又はその化合物、フッ化物、アルキル水銀化合物、水銀又はその化合物、ヒ素又はその化合物、六価クロム化合物、有機リン化合物、鉛又はその化合物、カドミウム又はその化合物、シアン化合物、PCB
- ・ 燃焼する場合は安全な場所で、かつ、燃焼又は爆発によって他に危害又は損害を及ぼす恐れのない方法で行うと共に、見張り人を付けること。

14. 輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。

運搬時には容器を 40℃以下に保ち、転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

陸上輸送：消防法他法令の輸送について定めるところに従う。

海上輸送：船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送：航空法に定めるところに従う。

危険物船舶運送及び貯蔵規則：IMDG コード class2 (UN No.1950)

15. 適用法令

高圧ガス保安法：適用除外（液化ガス・可燃性ガス）

化学物質排出把握管理促進法：第一種・第二種指定化学物質リストに掲げてある物質は含まれておりません。

消防法：危険物第 4 類第 4 石油類 危険等級Ⅲ

労働安全衛生法：通知対象物

水質汚濁防止法：油分排出規制

海洋汚染防止法：油分排出規制

下水道法：鉱油排出規制

廃棄物の処理及び清掃に関する法律：産業廃棄物規制（拡散，流出の禁止）

16 .その他の情報

ACGIH が定めるオイルミスト状態の許容濃度は 1 日(8 時間)で 5mg/m³です。

注意 この情報は新しい知見に基づき改訂されることがあります。ここに記載された情報の完全さ・正確さを保障するものではありません。全ての化学品には未知の有害性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行ってください。